



位置図

1. 説明文
 (1) この図は神通川水系いたち川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2) この浸水継続時間は、公表時点のいたち川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水によりいたち川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破堤箇所等破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間・最大の範囲を示したものです。
 (4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 作成主体 富山県
 (2) 公表年月日 令和元年 6月14日
 (3) 告示番号 富山県告示第286号
 (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5) 対象となる水位周知河川 神通川水系いたち川(実施区間)
 左岸: 富山市馬瀬口字築瀬832の4番から神通川合流点まで
 右岸: 富山市西の番字南割1番から神通川合流点まで
 (6) 前提となる降雨 いたち川流域の24時間総雨量813mm
 (7) 関係市町村 富山市
 (8) その他計算条件等
 ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわれない場合があります。
 ウ) 連続して大規模に盛土された道路や河川の堤防については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)

12時間未満の区域
12時間～1日未満の区域
1日～3日未満の区域
3日～1週間未満の区域
1週間～2週間未満の区域
2週間～4週間未満の区域
市町村境界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

